

令和4年度県債発行方針

1 基本的な考え方

令和4年度は、全国的な臨時財政対策債の発行額の減少により、地方債市場全体の発行総額が減少する見込みであるため、好調な需要感の継続が期待される。

金利動向については、米連邦準備制度理事会（FRB）が歴史的な高インフレの抑制を目指し利上げを決定するなど、金融緩和から引き締めへ政策を転換するなか、今後、国内金利は上昇する見込みが高まっている。一方、足許では、ウクライナ情勢をめぐる地政学リスクの高まりや、ロシアへの経済制裁に伴う景気懸念など、今後の市場環境や金利動向に対して十二分に注意する必要がある。

また、本県では、持続可能な行財政基盤を確立するため、令和4年2月に県政改革方針(案)を策定した。この改革を着実に推進し、収支均衡と将来負担の軽減を図るため、投資家基盤の拡大と安定かつ低利な調達に一層取り組む必要がある。

そのため、令和4年度においては、県債の安定的な消化、資金調達の多様化、競争性の確保、市場の変化への対応、県債への信頼性の向上の5つの基本方針に基づき、県債を発行する。

2 取組の方向性

基本方針	具体的な取組内容
県債の安定的な消化	銀行等引受債の定期発行及び発行額の平準化 銀行等引受債シンジケート団による責任引受機能の継続 銀行等引受債において、地元金融機関による安定的な資金調達体制の継続 戦略的 IR 活動により新規投資家確保を促進し、県債引受基盤を強化・拡大
資金調達の多様化	投資家需要を踏まえた発行年限・償還方式の多様化 本県初となるグリーンボンドを発行し、SDGs の取組を推進する本県施策の普及・PR や投資家基盤の拡充を促進 住民参加型市場公募債については発行環境を十分に検証のうえ、発行の可否を検討
競争性の確保	提案募集・入札による銀行等引受債の発行
市場の変化への対応	超低金利環境を踏まえた、超長期債の積極的な活用と固定金利中心の調達 市場環境の変化に備えた市場公募債の前倒し発行 市場環境や投資家ニーズの変化を捉えた機動的・弾力的な調達の実施
県債への信頼性の向上	公募債について、引き続き全年限主幹事方式を採用し、投資家との丁寧な対話による資金調達の実施 投資家に訴求する IR 資料を活用した効果的な IR 活動の継続